

平成23年度年間授業計画(シラバス)		第2学年・生活
月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	「ともだちいっぱいなかよくしようね」 「さあ、さくせんかいぎだ」	【生活への関心・意欲・態度】 ○身近な環境や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとする。 【活動や体験についての思考・表現】 ○具体的な活動や体験について自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。 【身近な環境や自分についての気付き】 ○具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。
5	「町をたんけんしよう」 「はっけんしたこと、おしらせします」	
6	「おれいの気もちをとどけよう」 「町に夏がやってきた」	
7	「ぐんぐんのびろ」 「わくわく夏休み」	
9	「つくってあそぼう」 「くふうしてみよう」	
10	「町に秋がやってきた」 「秋の町を見てきたよ」	
11	「子ども110ばんのいえについてしよう」 「ぐんぐんのびろ」	
12	「町に冬がやってきた」 「もうすぐ冬休み」	
1	「わたしは町はかせ」 「じぶんたんけんにしゅっぱつだ」	
2	「できるようになったよ」 「じぶんのものがたりをまとめよう」 「おれいの気もちをつたえよう」	
3	「あしたにむかって・・・」	
年間授業時数		105
授業の工夫	○ 学習のめあてを明確にし、学校や地域の特色を生かしながら、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなど、直接的な活動を積極的に取り入れるように工夫する。そして、それらの活動の楽しさやそこで気付いたことを絵、クイズ、劇、ペープサートなどによって表現するように様々な学習形態を経験させる。	
評価について	○ 単元ごとに一人一人がそれぞれの学習の目標をもち、それに向かって子どもたちが取り組んだ活動や作品などに対して、直接言葉をかけながら、評価する。(つぶやき・メモ・カード・作品・発表・個人の記録ノートなど)	
学習方法 (家庭学習) など	○ 通学路のひみつ・町のひみつ・町たんけん・栽培・生きもの探し・地域の祭り年賀状の宛名調べ・小さい頃の思い出探しなどを家庭学習として課し、子どもが好奇心、探究心を持って活動できるように家庭にも協力を求める。	